

医科大どおり

2014
春

医科大どおり

【春号】2014 季刊誌第20巻第1号 発行/金沢医科大学病院

編集/金沢医科大学病院ニューズ編集委員会



県道高松・内灘線から見た金沢医科大学病院

病院の理念

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します

- 患者さん中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。

はじめまして

妊娠が判明した時、嬉しさと共に不安もありました。しかし、検診の超音波検査で元気に育っていることが確認できるたび、楽しみでいっぱいでした。

赤ちゃんの産声を聞いた時は、とても感動しました。

首に3重、体に1重で臍の緒が巻かれた状態だったことを聞いた時には驚きましたが、無事元気に産まれてくれて嬉しく思います。

入院中、授乳が上手くいかず、退院後の生活にまだ不安がありますが、スタッフの方々が丁寧に指導して下さい、心から感謝しています。本当にありがとうございました。



四宮さま

- おとうさん 祥平さま
- おかあさん 幹子さま
- 赤ちゃん 平成26年3月6日生 篤仁(あつと)くん 2.984g 男の子

私の好きな風景

浅野川にかかる梅ノ橋から浅野川大橋間にかけて大小、色とりどりの250本前後のこいのぼりが泳いでいる姿は、圧巻である。ときおり強い風にあおられてこいのぼりが、ふくらんで泳ぐ姿にユーモアを感じてしまう。この行事は毎年5月3日に開催され、今年で14回目となる。



撮影:出版メディア業務課 中谷 渉

医科大クロスワード

□内の文字をアルファベット通りに並び替えると、ひとつの言葉になります。

1		2	3		4	
5	6	B			7	C 8
9				10		
11						
			12	E		
13	14					
	15	D				A

【ヨコ】

- ②裏面に絵や写真などがあるはがき。
- ⑤防腐剤・着色剤などのものを加えていないこと。
- ⑦物理学、化学、生物学等をまとめて。
- ⑨小学生が登下校で用いる。
- ⑪モーニング娘。の元メンバー○○○真希。愛称はゴマキ。
- ⑫映画「神様のカルテ」に出演。嵐の○○○○翔。
- ⑬○○も積もれば山となる。
- ⑮○○○○○○が4月から8%へ。

【タテ】

- ①ゴーストライター騒動で話題の音楽家○○○○○○守氏。
- ②穴水町出身の大相撲力士、○○○○聖大。
- ③学位の最高位のこと。
- ④微小な水滴が大気中に漂って視界が悪くなる現象。
- ⑥移動式の家屋で解体して持ち運びができる。
- ⑧組織に新しい人員が加入した時などに開催される飲み会で、送別会と併せて行われることも。
- ⑩チェスの駒で、塔または城の形をしている。
- ⑫甘みを持つ調味料。
- ⑭賃借した金銭などに対してある一定の利率で支払われる対価。

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への“説明と同意”を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

- 当院は、医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。
- 人間としての尊厳や人権が尊重され、安全で良質な医療を公平に受けることができます。
 - 病状や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べることができます。
 - 十分な説明と、情報提供を受けたうえで、ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
 - 治療のどの段階においてもセカンドオピニオン（他の医療機関の医師の意見）を求めることができます。
 - 診療記録の開示を求めることができます。
 - プライバシーは尊重され、個人情報には厳重に保護されます。
 - 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

患者さんへのお願い

- 当院は、大学病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。
- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
 - 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
 - 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
 - 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
 - 当院は教育・研修施設として医学生・看護学生等の臨床教育実習を行っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(4F)

〒920-8643 石川県金沢市津田2-1-1

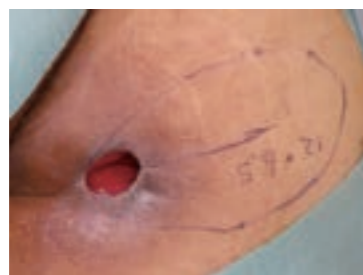
難治性潰瘍に対する先進医療(形成外科)

車いすや寝たきりの患者さんに生じる褥瘡(床ずれ)や糖尿病、動脈硬化などで生じる下腿や足の潰瘍は通常の創傷治療ではなかなか治癒しません(難治性潰瘍といいます)。治癒しない原因としては、1)潰瘍部にある壊死組織(死んでしまった組織)が治癒を妨げている、2)潰瘍周囲の健全組織も潰瘍の治癒を促進させる能力が衰えている、などが考えられています。

壊死組織の除去には、これまで薬剤の作用で溶かす方法や、ハサミやメスなどで切除する方法が用いられていますが、より短期間に壊死組織を除去し体への負担も少なくする方法として、医療用のハエの幼虫(マゴット)を用いています。マゴットは壊死組織しか食わないという性質を利用して潰瘍に付着した壊死組織のみを速やかに除去する方法です。また、マゴットが壊死組織を溶かすために出す分泌液に潰瘍の治癒を早める効果があることも判っています。

つぎに、周囲健全組織の治癒能力を高める方法として、多血小板血漿(PRP)を組織に作用させる方法が用いられています。このPRPは患者さんの血液から特殊な機械を用いて抽出します。PRP中には潰瘍の治癒を早める物質が高濃度に含まれているのが特徴です。通常は、PRPを人工コラーゲン(豚由来)に浸して、これを患部に貼付して創の治癒を図ります。これまでならば、手術でしか治癒させることが出来なかった潰瘍を患者さんの負担なく治すことができ、高度先進医療として認められています。

PRPを用いた車いす患者さんの坐骨部褥瘡の治療



治療前

3cm径の潰瘍と12×6.5cmの大きさの皮下ポケットを認める



治療後45日

一旦皮下ポケットを解放してポケット内の壊死組織を除去後PRP治療を行った

(記：形成外科 教授 川上重彦)

病棟紹介 (新館 11 階)

新館11階病棟は、特別個室32床(全診療科が対象)と睡眠医学センター 2床の病棟です。入院される患者さんの目的は手術・化学療法・緩和ケア・検査・感染管理などで、小児科の小さいお子さんから100歳近い方まで、昨年は29の診療科で利用がありました。

廊下及び病室は絨毯張りになっていて室内空間を広めに確保しており、他の病棟より静かで落ち着いた場所になっています。治療や検査後などに静かな環境を望まれる方、終末期を家族とゆっくり過ごしたい方など、ご家族の付き添いを希望される方にもゆったり過ごせる空間が特徴で、ミニキッチンを利用することも可能です。病室から見える潟・海や山、町並みなどの四季折々の景色もリラックスさせてくれます。

病棟スタッフ看護師19名、看護補助員2名と医師・薬剤師・リハビリ担当者・栄養士・ソーシャルワーカーなどの多職種のスタッフで連携を図り、患者さんに寄り添ったケアができるように取り組んでいます。笑顔で丁寧な対応が motto の病棟です。



広くゆったりとした個室です

患者さんやご家族がお料理をすることができます

浴槽のある病室もあります

ダイニングから夕焼けを見ることができます

(記：新館 11 階病棟 師長 船本昌枝)

(感染症科)

春に流行する感染症とその予防法について

北陸の春は気温や気候の変動が大きく、また、新年度の生活環境の変化も加わり、体調を崩しやすい季節でもあります。この時期特に注意しなければならない感染症として、発疹を伴う全身性ウイルス感染症である、麻疹(はしか)と風疹(三日ばしか)が挙げられます。麻疹・風疹混合ワクチンの2回接種(1期が1～2歳の間、2期が小学校入学前1年間)が2008年から施行され、近年患者数は順調に減少してきました。ところが麻疹は昨年末に海外からの輸入感染症として関東地区で流行が始まり、今年に入っても前年の数倍の患者数が報告されています。

麻疹は、発熱とくしゃみ、鼻水、結膜炎といったカタル様症状で始まり、ほおの内側にコプリック斑*が出現し、その後発疹が顔面から全身に拡大します。麻疹の感染力は非常に強く、また、症状も比較的強く、肺炎や脳炎などを合併し重症となる場合もあります。

風疹は、一昨年から増加傾向が見られ、昨年春から夏にかけて都市部を中心として大流行しました。2014年に入ってから患者数は減少傾向ですが、まだ警戒が必要です。風疹は、発熱、発疹、リンパ節腫脹がみられ、症状は比較的軽く済むことが多いのですが、免疫のない妊婦さんが感染した場合(特に妊娠初期)には、胎児が先天性風疹症候群を合併し、障害を残す場合もあります。

麻疹、風疹ともに感染を防ぐためには、小児期に確実にワクチン2回接種し免疫を付けておくことが重要です。また成人でも、特に妊娠予定の女性の方で、ご自身および同居されているご家族の中で免疫に不安がある場合は、医療機関にご相談のうえ、ワクチン接種をご検討下さい。



赤ちゃんの発疹
(麻疹・風疹)

麻疹の特徴

- 発熱とカタル様症状(くしゃみ、鼻水、結膜炎)から始まる
- ほおの内側に「コプリック斑」が出現する
- 発疹が顔面から全身に広がる
- 色素沈着を残して治癒する

風疹の特徴

- リンパ節が腫れる(耳の後ろ、頸部)
- 次に発熱とともに発疹が顔面から全身に広がる
- 発熱や症状は比較的軽い

*コプリック斑:麻疹のカタル期にほおの内側にできる白色の斑点



コプリック斑
(国立感染症研究所ホームページより)

(記:感染症科 教授 飯沼由嗣)

お知らせ

イベントのお知らせ(5月～8月)

うちなだ・タベのひとときコンサート

	日程	内容	演者
水曜日17:00～ (場所:新館1階ロビー)	5月21日(水)	ギターコンサート	谷内直樹氏
	6月18日(水)	女性ヴォーカルアンサンブル	カンタービレ・かすみ
	7月16日(水)	ピアノソロコンサート	新澤隆志氏
	8月20日(水)	ミニコンサート	石川ミュージックアカデミー受講生

ふれあいタイム

	日程	内容	演者
土曜日14:00～ (場所:新館1階ロビー)	5月10日(土)	大正琴コンサート	ラビアンローズ
	6月14日(土)	合奏	金沢医科大学クラシック音楽同好会
	7月12日(土)	ピアノと歌	片岡のりこ氏
	8月9日(土)	ピアノと歌	服部好恵氏

医療系バンド「ハートフルホスピタル」コンサート

12:30～13:15 (場所:新館1階ロビー)	6月14日(土)	※医療現場の想い、病気予防、「いのち」の尊さを歌う現役内科医によるバンド演奏
-----------------------------	----------	----------------------------------------

明るい未来を拓く、魅力ある大学への設計図 金沢医科大学グランドデザインプロジェクト



金沢医科大学創立40周年記念事業の一環として、社会が求める良医を育てる高機能な学習環境を整備するため、病院に隣接して「医学教育棟」を建設しています。(2014年9月完成予定)

医学教育棟には現在病院本館で稼働している診療科・部署が仮設の形で移設されたあと、2017年1月の「中央診療棟」の完成をみて、1989年以来続いた病院の増改築計画が一旦終わることになります。

皆さまにはご不便、ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解とご協力をお願い致します。

第1次5カ年計画

医学教育棟

フロアプラン 第1次5カ年計画(2014～2017年)
地下2階、地上6階建て

6階	診療科医局、病院事務部、大会議室
5階	講義室、SD [*] 医局(6学年)、 クリニカルシミュレーションセンター、 病院事務部
4階	講義室、臨床研修センター、 北陸大学セミナー室、グループ学習室
3階	リハビリテーションセンター、病院病理部
2階	中央臨床検査部、看護部、 臨床研修センター仮眠室
1階	集学的医療部、一般外来、医療安全部、 医療情報部、家族待機室
B1階	薬剤部、電気室、機械室
B2階	職員更衣室、清掃委託業者作業室、倉庫

※SD:ステューデント・ドクター

4月からお世話になります！！

当院で初期臨床研修^{※1}を修了した研修医のうち、平成26年4月より31名が後期臨床研修医^{※2}として金沢医科大学病院で新たな一歩をスタートさせました。

皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、今後とも宜しく願いいたします。



平成25年度臨床研修修了交付式

所属先

循環器内科	2名	高齢医学科	2名	眼科	1名
呼吸器内科	1名	小児科	2名	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1名
消化器内科	1名	皮膚科	1名	泌尿器科	1名
肝胆膵内科	1名	内視鏡科	1名	小児外科	2名
腎臓内科	4名	心臓外科	2名	産科婦人科	2名
内分泌・代謝科	1名	一般・消化器外科	1名	救命救急科	2名
神経内科	1名	形成外科	1名	病理診断科	1名

次号からは、初期臨床研修医のコメントを掲載する予定です。どうぞお楽しみに！

※1)初期臨床研修

医師免許を取得した医師を対象とする臨床研修のこと。診療を行う医師は、大学病院または厚生労働大臣の指定する病院で2年間以上の臨床研修を受けることが義務付けられており、医師としての基本的な診療能力を身につけることを目的として行う。

※2)後期臨床研修

初期臨床研修を修了した医師を対象とした臨床研修のこと。専門分野の医療技術や知識を修得する目的で行われ、レジデントなどと呼ばれる。

リハビリニュース

ワンポイント介助術～コツを掴んで相手も自分も楽に～

人の介護や動作の介助をするというと「きつい」「大変だ」「難しそう」などのイメージがありませんか？ちょっとした介助のコツを知ることによって、介助をする側が楽になるだけでなく、介助をされる側も楽になります。

今回は「立ち上がり」をテーマにワンポイント介助術を紹介したいと思います。

“自然な”立ち上がりとは？

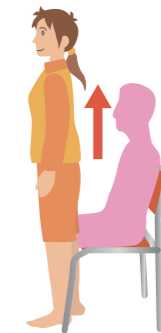
動作の介助をするときに大事なことは、人の自然な動きを知ることです。立ち上がりをするときの自然な動きには、①足を手前に引いて、②体を前下方に傾けて（お尻が椅子から離れて）から、③立ち上がるといった流れがあります。



① 足を手前に引く



② 体を前下方に傾けて（お尻が離れる）



③ 立ち上がる

介助のポイントとは？

例)悪い介助方法

体を前方に傾けず、そのまま引き上げてしまい負担が大きい。



例)良い介助方法

体を前下方に誘導しお尻が浮いてから介助するので負担が少ない。



さらにワンポイント



介助者は腕で持ち上げるように力を入れやすいのですが、腕は支えるのみで脚と腰を使って一緒に立つイメージで介助をすると楽に行えます。

“自然な”立ち上がりができると介助が楽になるだけでなく、動作自体がリハビリにもなりスムーズに動くことができるようになります。